

別子と生野：その比較とそれぞれの歩み

日本の近代化と産業の発展を支えた二つの鉱山と、閉山後のまちの歩み

※画像はAIによるイメージです

① 別子と生野の比較

別子（愛媛県新居浜市）



東洋一の銅山として発展。
大規模で良質な銅鉱床を有する。

鉱山の特徴



旧端出場水力発電所（登録有形文化財）
1911年建設。別子銅山の動力を支えた
近代化産業遺産の象徴。

主要遺産
(登録文化財など)



マイントピア別子
鉱山の歴史や産業遺産を紹介する
観光・体験施設。

史跡・生野銀山
(史跡)



山の上に鉱山と町が形成された
近代的な鉱山都市。

まちの特徴



産業遺産と自然が融合した景観が魅力。
近代化産業遺産を活かした観光が盛ん。

現在の観光の魅力

生野（兵庫県朝来市）



銀・鉛・亜鉛の鉱山として古くから開かれ、
日本最古級の鉱山の一つ。

井筒屋（登録有形文化財）
江戸時代後期の鉱山経営の拠点となった商家。
鉱山町・口銀谷の中心的建物。



史跡・生野銀山
生野銀山の坑道や関連遺構を保存・公開。
日本の鉱山史を伝える重要な史跡。



谷あいには鉱山町が形成された
山あいの鉱山都市。



歴史的な町並みや鉱山の暮らし・文化が
今も息づくまちなみ観光が魅力。



② 別子のあゆみ

閉山前 (鉱山の時代)

- 1861年 銅山峰南斜面にて開坑
- 1865年 広瀬幸平が支配人となる
- 1874年 フランス人技師ブルーノ・ルイ・ラロックを雇用
- 1915年 第四通洞開通
- 1916年 本部を旧別子から東平に移転
- 1930年 本部を東平から端出場に移転
- 1973年 閉山



閉山後 (まちの再生・ 観光の時代)

- 1975年 別子銅山記念館 開館
- 1991年 マイントピア別子 端出場ゾーン オープン
- 1994年 マイントピア別子 東平ゾーン オープン
- 2016年 「別子温泉～天空の湯」
「あかがねキッズパーク」オープン



③ 生野のあゆみ

閉山前 (鉱山の時代)

- 807年 銀が出たと伝えられる
- 1542年 古城山南表にて開坑
- 1567年 慶寿ひ発見
- 1716年 生野代官所設置
- 1868年 官営鉱山。お雇い外国人コワニエらを雇用
- 1889年 皇室財産へ移管
- 1896年 三菱合資会社に払い下げ
- 1973年 閉山



井筒屋（登録有形文化財）



閉山後 (まちの再生・ 観光の時代)

- 1974年 史跡・生野銀山 オープン
- 2003年 生野まちづくり工房井筒屋 オープン
- 2007年 国の近代化産業遺産に認定
- 2014年 国の重要文化的景観に認定
- 2017年 超スーパー地下アイドル「GINZAN BOYZ」デビュー
- 2017年 日本遺産「播但貴く、銀の馬車道 鉱石の道」認定



生野まちづくり工房井筒屋



GINZAN BOYZ



別子は「産業のスケールと技術の発展」を象徴するまち、生野は「暮らしと歴史が息づく鉱山町並み」を今に伝えるまち。
どちらも、日本の近代化と産業の発展を支えた大切な遺産です。

別子銅山 全体俯瞰マップ

※画像はAIによるイメージです

別子銅山の価値（3つの軸）

 **学び**
(産業遺産・文化)

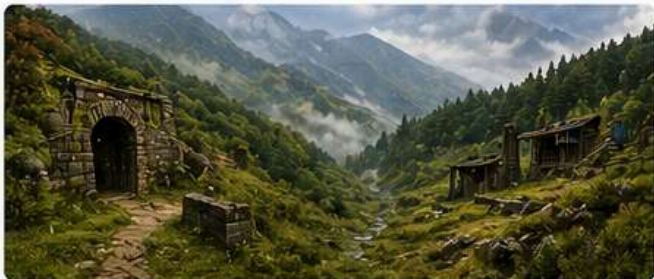
 **遊び**
(体験・レジャー)

 **癒し**
(自然・景観)

～山とまち、産業遺産がつながる周遊型観光エリア～

① 旧別子エリア (標高約1,000m)

別子銅山の発祥の地。山の奥に広がる歴史資源。



 **歓喜坑**
1691年の開坑以来の坑道の一部。往時の採掘の様子を伝える。

 **別子山ふるさと館**
別子山の歴史・文化・自然を紹介する展示施設。



② 東平エリア (標高約750m)

鉱山の中核・産業遺産の核心エリア



選鉱場跡・貯鉱庫跡
東洋のマチュピチュとも称される巨大な石垣遺構群。鉱山の近代化を象徴する遺産で、絶景も魅力。



東平歴史資料館
別子銅山の歴史や技術を紹介する資料館。

③ 端出場エリア (マイントピア別子／標高約350m)

観光・体験・憩いの拠点エリア



鉱山観光坑道
坑内を歩いて見学。当時の採掘の様子を体験できる。



鉱山鉄道体験
トロッコ列車で鉱山内を走る人気アトラクション。



砂金採り体験
砂金採りを体験できる人気の体験メニュー。



旧端出場水力発電所
日本初の本格的な鉱山用水力発電所跡。産業遺産として貴重。



別子温泉
～天空の湯～
霧天風呂から山並みを望む人気の温泉施設。



あかがねキッズパーク
大型遊具やボールハンド整備の屋内キッズ施設。



道の駅 マイントピア別子
食事やお土産が楽しめる休憩・物販施設。

④ 市街地エリア (新居浜市街)

産業と文化が息づく、まちの魅力エリア



旧山根製錬所煙突
別子銅山の歴史を物語る近代化遺産の象徴。



別子銅山記念館
別子銅山の歴史を学べる主要な展示施設。



新居浜駅周辺
交通の拠点。商業施設や飲食店が充実。



太鼓祭り(秋季)
豪華絢爛な太鼓台が繰り出す、四国屈指の祭り。

④ 市街地エリア (新居浜市街)

銅山とともに発展したまち。産業と文化が息づく、にぎわいの拠点。

生野銀山 全体俯瞰マップ

※画像はAIによるイメージです

～山とまち、産業遺産がつながる周遊型観光エリア～

生野銀山の価値（3つの軸）



学び

（産業遺産・文化）



遊び

（体験・レジャー）



癒し

（自然・景観）

① 黒川渓谷エリア

～清流と自然を満喫する渓谷リゾート～



ミニ水族館
（今夏オープン）
特別天然記念物オオサンショウウオを中心に、黒川の生き物を展示する体験型施設。



黒川温泉
自然に囲まれた温泉で、心身ともに癒される人気スポット。



魚ヶ滝
夏の川遊びに人気スポット。



銀山湖
ダム湖で静かな水面と四季の景色が魅力。

② 史跡・生野銀山エリア

② 史跡・生野銀山エリア



観光坑道
中世から近代にかけての坑道や採掘方法の進化を学ぶことができる。



露頭群
鉱脈が露出した貴重な地層。地球の歴史を間近で感じられる。



お土産物屋、砂金すくい
お土産選びや砂金すくい体験が楽しめる、人気の立ち寄りスポット。

③ 太盛・奥銀谷エリア

③ 太盛・奥銀谷エリア

～鉱山のまちの賑わいと産業の歴史を感じるエリア～



生野鉱山本部
（近代化産業遺産）
近代化を支えた鉱山の中枢として栄えた歴史を伝える貴重な建造物。



街並み
山に沿って続く、風情ある街並み。昔ながらの暮らしが残るエリア。



トロッコ道が見える公園
坑内から運び出した鉱石を運んだトロッコ道の跡が残る公園。自然の中でくつろげる憩いの場。

④ 口銀谷エリア

④ 口銀谷エリア

～鉱山で栄えた暮らしと文化を伝えるまちなみエリア～



井筒屋
江戸時代から続く鉱山の風営者（山師）の家で、豪商も営んできた。



浅田邸
鉱山で財を成した豪の邸宅。風格ある建築と庭園が見どころ。



甲社宅
鉱山で最上位の社宅。併用な粋銀の生活を記念する記念館も併設。

※各エリアは徒歩や自転車でも周遊できます。（黒川渓谷～史跡・生野銀山 約20分／史跡・生野銀山～太盛・奥銀谷 約5分／太盛・奥銀谷～口銀谷 約5分／車 約2分）

別子と生野における鉱山遺産保存活用の役割分担

鉱山遺産の保存・活用において、企業・観光事業体・行政がそれぞれ担う役割と連携関係を整理

▶ 凡例：  主に関与（中心的な役割）  連携・協力（重要なパートナー）  関与は限定的

		 企業 （住友・三菱） （所有・保安・歴史的価値の提供）	 観光事業体 （マイントピア別子・シルバー生野） （観光運営・体験価値の創出）	 行政 （別子銅山文化遺産課・朝来市文化財課） （公的管理・文化財保護・政策推進）
鉱山施設の 所有管理 	別子 （新居浜市）	住友グループが所有 ・旧端出場水力発電所 など ・保安・維持管理・技術的管理	日常的な点検？	—
	生野 （朝来市）	三菱が所有 ・坑道・施設・土地 など ・保安・安全管理・技術的管理	日常的な点検	—
観光 	別子 （新居浜市）	・歴史資料の提供 ・ブランド・歴史の発信に協力	マイントピア別子 ・観光施設の運営 ・観光プログラム・体験の提供 ・情報発信	観光物産課 ・観光政策の策定 ・市内・広域観光連携 別子銅山文化遺産課 ・周辺施設の管理運営
	生野 （朝来市）	・歴史資料の提供 ・ブランド・歴史の発信に協力	現状：シルバー生野 → 2027年以降：朝来市？ ・観光施設の運営 ・観光プログラム・体験の提供 ・情報発信	観光交流課 ・観光政策の策定 ・市内・広域観光連携 生野支所 ・周辺施設の管理運営
文化財保存 	別子 （新居浜市）	・文化財指定に向けた協力 ・資料・技術的知見の提供 ・史料・資料の保管・提供	・文化財施設の公開・活用に協力 ・解説・展示の工夫・充実	文化振興課 ・文化財行政全体の推進 別子銅山文化遺産課 ・文化財指定の推進・手続き ・調査・研究
	生野 （朝来市）	・文化財指定に向けた協力・同意 ・調査・保存に関する技術的支援	・文化財施設の公開・活用に協力 ・ガイド解説・展示の充実	文化財課 ・文化財指定の推進・手続き ・調査・研究

**ポイント（シンプルな構造）**

- ✓ 鉱山施設の「所有・保安」は企業が担う
- ✓ 観光の「運営・体験価値の創出」は観光事業体が担う
- ✓ 文化財の「公的管理・保存・政策」は行政が担う

